

議会だより



西桂保育所「お楽しみ保育」

6月定例会

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| ■ 山崎町長行政報告 …………… 2～3 | ■ 人事案件・条例改正・補正予算一覧 …… 8 |
| ■ 役場新庁舎建設に向けて …………… 4～5 | ■ 一般質問(酒井議員、武藤議員、渡辺議員) 9～11 |
| ■ 補正予算委員会審議内容 …………… 6～7 | ■ コミュニケーション広場(少年野球) …… 12 |



まず、ロシア軍によるウクライナ軍事侵攻について触れさせていただきます。ウクライナ各地における戦闘は日を追うごとに激化し、ウクライナ市民の方々は、不安と緊張の中で日々過ごされています。子どもを含む犠牲者が数多く報告され、市民生活に不可欠なインフラにも甚大な被害が出ています。

こうした状況下、町としてもウクライナ支援のための募金活動を本年3月23日から5月20日まで行いました。役場庁舎をはじめとする町内公共施設及び、三ツ峠グリーンセンターに「ウクライナ人道支援募金箱」を設置し、集められた募金69,206円は、ウクライナ市民の方々の人道支援や復興に役立てていただくため、5月24日に日本赤十字社を通じ全額を送金させていただきました。皆様からの心温まる善意に対し感謝申し上げますとともに、ウクライナの

方々に一日でも早く安心して暮らすことができる日々が戻りますようお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、本年3月に「まん延防止等重点措置期間」が全国的に解除され、新規陽性者数は減少傾向にあるものの、減少ペースは高止まりの状況にあります。当町における感染状況は極めて低く、町民皆様の感染拡大に対する基本的な取り組みを実践していただいたことに、心より感謝申し上げます。

当町におけるワクチン接種状況は、1回目が86%、2回目が85.7%と高い接種率となっております。町では、3回目・4回目のワクチンを安心して円滑に接種していただけるよう、引き続き取り組んでまいります。ご自身を守るだけでなく、大切な方々を守るためにも、ワクチン接種について、積極的にご検討くださいますようお願い申し上げます。

それでは、令和4年度の各種事務事業の状況についてご説明申し上げます。

環境保全・循環型

社会の構築

本年2月1日に、富士・東部地域12市町村で構成する、ごみ処理



現在稼働している環境美化センター

の広域化を目的とした「富士・東部広域環境事務組合」が設立されました。

3月末には第1回組合議会定例会が開催され、令和14年4月の新ゴミ処理施設稼働に向けて本格的な検討が始まりました。

なお、当町におきましても、新ごみ処理場の建設検討に合わせ、ごみの分別細分化や、ごみ袋の有料化などの取り組みむべき課題について検討を進めてまいりますので、町民皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

観光の振興

三ツ峠グリーンセンター管理運営事業につきましては、長期化している新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年度収支状況におきましても、大変厳しい旨の報告を指定管理者より受けました。

町でも、令和3年度中において、コロナ禍並びにコロナ後に向けた経営改善策等について指定管理者と運営会議を定期的に行い、意見交換を行ってまいりましたが、首都圏を中心としたまん延防止等重点措置の延長による人流抑制や、繰り返された国民の行動制限や自粛要請により、この危機的状況を打開するまでには至りませんでした。

一方で、本年3月21日に全国一斉に、まん延防止等重点措置が解除され、4月以降において感染防止対策を施しながらも社会経済活動の両立を目指し、県民割などの各種施策の実施等により、人の増大など消費活動が一部において活発化し、厳しいながらも観光産業の持ち直しの動きがみられました。とは言え、依然として厳しい状況は続いている中においても、令和4年度には、前年度からの繰越事



経営改善に取り組む三ツ峠グリーンセンター

業である空調設備の入替え工事の実施や、魅力を高めるための施設改修などを検討してまいります。

コロナ終息後を見据え、町によるハード面の整備と、指定管理者によるソフト面の新たな取り組みなど、かつての賑わいを取り戻すべく官民がそれぞれの役割を担いながら取り組んでまいりますのでご理解をお願い申し上げます。

保健・医療の充実

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、町でもゴールデンウィーク後の感染状況の推移を心配してまいりましたが、感染者の多くは家族感染であり、感染拡大に至らず、小康状態が続いております。

そのような背景の中、3回目の新型コロナウイルスワクチン接種業務は順調に進行しているものの、若い世代における接種の低迷が顕著に現れております。本年5月1日現在、5歳以上の町民の接種率は67.2%であり、町民全体で7割近い集団免疫を獲得しています。重症化を懸念する60歳以上の町民の接種率が約9割であり、この年代の感染者はほとんどないのが現状です。

一方、5歳から17歳までの若年層における接種率は1割にも満たない状況があり、保育所や小・中



新型コロナウイルスワクチン4回目の接種を受ける対象者

学校へ通う子どもへの感染拡大が懸念されますが、保護者の皆様のご理解並びにご協力をいただく中、保育所や学校関係者の迅速な措置により、幸いにも大きな感染拡大に至りませんでした。

また、7月上旬より4回目の新型コロナウイルスワクチン接種が開始されます。対象者は、3回目のワクチン接種から5カ月が経過した方のうち、60歳以上の方、18歳以上60歳未満の基礎疾患を有する方又は、重症化リスクが高いと医師が認める方となります。ワクチン接種に対し、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

高齢者・障がい者

福祉の充実

「高齢者等移動支援」を今年度より開始し、町民の皆様から多くのご意見やご提案を頂き、利用者ニーズに合わせ改善を図り、利便性を高めてまいりました。5月26日現在、78名の方が利用登録を済ませ、新たな町民の足として利用していただいております。また、外出に支援が必要な高齢者や障がいのある方への外出支援としてNPO法人ワーカーズコープを委託先とし、現在19名の方にご利用いただいております。



移動支援事業で使用されている車両

行財政運営の充実

新庁舎建設事業につきましましては、コロナ禍における世界的な物流の低迷に加え、ウクライナ情勢

を受けて建設資材が高騰している状況下であり、事業費が当初の想定より大幅に増額となる見込みで町民の皆様にご心配をおかけしておりますが、この事業は有利な地方債や基金の活用その他、国庫補助金の申請等を通じてほとんどの財源を確保する中で取り組む事業であり、新庁舎建設に伴い、町民の皆様への公共サービスが低下するようなことは決してございませんので、ご理解をお願い申し上げます。

また、ふれあいサロン三ツ峠解体及び、新庁舎敷地造成工事の入札を今月末に行い、7月から解体工事中予定となり、8月末には新庁舎本体の建築工事の入札、9月には契約を締結し、着工の予定となります。

工事期間中、ご近所の皆様をはじめ、国道及び町道柿園上町線を通行される皆様やドライバーの皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

コロナやウクライナ情勢など、変化が激しく先行きが見通しにくい状況ですが、柔軟で迅速な対応を心掛け、町民の皆様へ寄り添い、将来に向けてすべきことを施策に反映させ、「豊かな自然輝く未来を紡ぐ水のまち」の実現を目指してまいります。

建設に向けて

竣工予定

新庁舎建設の経過

令和2年12月11日、町議会の小林剛議員より、オリンピック会場として建設された「国立競技場」を設計し木造大型施設の設計実績が豊富な隈研吾氏にお願いしてはどうかとの提案があり、議会として協議した結果、新庁舎の設計に関して参加を依頼するための議会提案書を町長に提出しました。



左側から小林総務委員長、藤江副議長、瀧口議長、山崎町長

このことにより隈研吾建設都市設計事務所がプロポーザルに参加できるよう、県内のみの参加資格要件を東京都内まで緩和し、かつ国際的な受賞歴のある事務所のみと制限しました。

令和3年1月28日、第1回西桂町役場庁舎基本設計・実施設計プロポーザル審査委員会開催。(プロポーザルの構成委員は、町議会議員3名、一般住民1名、各種団体代表2名、学識経験者1名、役場職員3名です)

令和3年2月18日、参加7社による一次審査により、5社を選定し、3月22日に5社中2社が辞退したため、3社によるプレゼンテーションを行い、隈研吾事務所に決定しました。これはプロポーザル審査委員10名による審査であり、町長は入っておりません。

また、新庁舎建設は少し早いものではとの議論もありましたが、庁舎の建て替えについて、交付税措置のある財政面でとても有利な地方債事業が終了になることや、現庁舎は建設から50年以上が経過し老朽化が進んでおり、危機管理の観点からも早期の新庁舎建設が必要と判断し、役場庁舎を建て替えることに至っております。

今後のスケジュール(工事関連)

●ふれあいサロン三ツ峠解体・

新庁舎敷地造成工事

6月末 一般競争入札

7月 工事着工(10月完了予定)

●新庁舎建設工事3種(建築主体・電気設備・機械設備)

8月末 一般競争入札

9月 議会の議決を経て本契約

議会としての取り組み

町議会におきましては、令和2年12月、地元の木材を多く利用し、環境に配慮した木のぬくもりが感じられる早川町役場へ視察研修を行っております。

今後におきましても、町議会として、町民に親しまれ安全で利用しやすい庁舎となるよう完成に向けて取り組んでまいります。



早川町役場庁舎視察

西桂町役場新庁舎

令和5年度



西桂町役場新庁舎完成予想図

役場新庁舎のコンセプト

交流と憩いをうみだす、木とひろばの町役場

- 豊かな自然に囲まれた西桂町の魅力を活かし、住みやすいまちづくり実現のためコミュニティの核となる「木とひろばの庁舎」がコンセプトです。
- 柔らかなカーブを描く大きな庇（ひさし）が特徴で、周囲の自然や風景の調和する屋根が特徴的です。
- 木材を使用し木漏れ日が差し込む居心地のよい場所として住民や来庁される方々が滞留し、コミュニケーションを生む空間がデザインされます。

令和4年6月定例会

令和4年度西桂町議会6月定例会は、6月9日から16日までの8日間の会期で開かれました。

町長より承認案4件をはじめ、議決議案1件、条例案3件、補正予算案1件など9件が提案され、全ての議案が原案のとおり承認・可決されました。

主な審議は内容を要約してお伝えします。

令和3年度西桂町一般会計補正予算(8号)

(主な委員質疑)

渡辺委員 7千万円を基金に積立しています。非常によいことだと思えますが、今年度だけなのか、昨年度まではどうだったのか説明を。

高山企画財政課長 今年度に限ったことではありませんが、交付税が予想より多く入ってきたことと各課の歳出削減の努力により、

金額が増えたということですが。

小林委員長 各課の努力によって積み上げられる額や、町民生活に直接かわる本来やらなければならぬ事業ができなくて残った予算も含まれているのか。

高山企画財政課長 年度末の予算消化を一切しなくなったというのが一つ、コロナにより各種予定していた事業が最終的に実施できなかったことが大きいと思います。

令和4年度西桂町一般会計補正予算(1号)

(主な委員質疑)

新庁舎建設事業

小林委員長 新庁舎の敷地造成工事費用約1千万円の増額理由に国道沿いの石積み撤去・L字擁壁設置と伺いました。石積み部分が国交省(国道)の敷地に入っているのですが、境界まで下がる計画ですが、国道ができる以前からこの石積みはあったのでは。

高山企画財政課長 県道だった道が国へ移管され、国道になったと聞いております。電柱脇にコンクリート杭があり国交省では、杭は

絶対で、図面上でもそうになっているので石積みは国道敷地から撤去するようにと、指導を受けました。当時の経緯を説明しましたが、その証拠物件もないので、こちらが折れました。

山崎町長 地籍調査における杭が地権者と確認済みの標に石積みの上に打ってあります。

瀧口委員 石積みの石は何か町で使い道はないものですか。

山崎町長 石材としての溶岩は貴重品でありますので、前田氏の家を壊すときの石も、保存してあります。今回の石もどこか場所を探して、仮置き場等々で一時的に保管しようと思っています。ただ、現在の積み方で復元予定はありません。

瀧口委員 いつも建設予定地前を通るたびに、この石垣はいいなと思っています。町長の答弁をいたただけて良かった。上手にうまく使ってもらえばいいと思います。

高山企画財政課長 先ほど町長が言われたとおり、あのまま後ろに下がって石を積むことも考えましたが、町内にも近隣にも石垣を積める職人さんがおりません。熊本城の修復をしている専門業者さん



新庁舎建設地の石垣

では多額の費用と工期が見込まれます。既製品のL型を採用した方がよいのではないかと結論付けました。

菅谷委員 新庁舎関係で、アスベスト未定とありますが、現状で見積もりは作れないのですか。

高山企画財政課長 その見積もりを作るための調査費を、今年予算計上をしたところです。

小林委員長 調査はいつ入るので

高山企画財政課長 こちらは新庁舎工事とは関係なくできますので、隈研吾建築都市設計事務所並びに桂建築研究所になるべく早い時期に見積もりのための下見積もりをお願いしています。

新庁舎事業費・財源早見表

(単位：百万円)

区 分	事業費	財 源 内 訳			
		基 金		地方債	一般財源
		庁舎建設基金	公共施設整備基金		
建設工事（主体・電気・機械）	1,537	280	31	1,180	46
情報通信関係移設工事	91	0	91	0	0
現庁舎解体・駐車場造成工事	60	0	60	0	0
基本設計&実施設計業務	66	20	0	37	9
備品購入・引っ越し	92	0	92	0	0
その他付帯工事等	109	0	76	20	13
合 計	1,955	300	350	1,237	68

武藤委員 新庁舎事業費の財源早見表（総事業額ベース）で、2年度6千7百万円、3年度1千6百万円（以上確定値）、4年度6億8千4百万円、5年度11億5千万円、6年度3千6百万円（以上計画値）。総事業費合計19億5千5百万円です。また、財源別にみると、庁舎建設基金3億円、公共施設整備基金3億5千万円、地方債の起債12億3千7百万円、一般財源6千8百万円です。これらの財源を合計し19億5千5百万円になります。

建設工事費だけを取り出して見れば15億3千7百万円ですが、丸ごといろいろな経費を含めればこれくらいの総額になると考えてよいのですか。

高山企画財政課長 そのとおりです。

猫の不妊・去勢手術助成

酒井委員 県の支出金「猫の不妊・去勢手術助成金」54万円の対象は、野良猫・飼い猫、どちらでもよいのですか。

佐藤産業振興課長 令和4年度のみの単年度事業として、飼い猫と

野良猫、両方が対象になっており、今回の補正予算はオス21頭、メス22頭の合計43頭が対象です。

議会でご承認いただければ、町広報誌への掲載やホームページ等も活用し、町民へ周知していきたいと思えます。

なお、財源には限度がありますので申請の早いもの順となります。

藤江委員 西桂町の場合は野良猫でも対象ということになると、その野良猫は誰が捕まえるのですか。ボランティアの人か、愛猫団体とか、そのような方々がやられるのでしょうか。捕獲費用も発生するのですか。

佐藤産業振興課長 当町では、公益財団法人どうぶつ基金の事業に取り組んでいるボランティア組織と繋がりがありません。その法人の基金事業で、既に3頭の不妊手術を行っております。なお、今回の事業は、山梨県知事が政策的に単年度で公費を充てるということで打ち出しており、県内の27市町村全てが足並み揃えて対応するということで進めています。

今回の対象猫については、町では野良猫か、飼い猫かの判断はできませんので、ボランティアの方、



令和4年度限り猫の不妊・去勢手術費用を助成

または町民を通じて、飼い猫や町内で捕獲した猫を去勢または、不妊措置をしていくこととなります。町が直接捕獲して実施する事業ではありませんので、町民の皆様のご協力をお願いしたいと思います。

渡辺委員 犬は殺処分あり、猫は殺処分なしという話を聞きました。その差は何ですか。

佐藤産業振興課長 犬も猫も、町が保護すれば、県の動物愛護センターへ持ち込みます。何日か留置した後、新しい飼い主さんが見つからない場合、最終的にはどちらも殺処分となります。



西桂町選挙管理委員会
委員及び補充員選挙
全員賛成



岩田 裕展氏 (柿園)



渡邊 吉孝氏 (倉見)



前田 豊光氏 (下暮地)



佐藤 清氏 (本町)

任期 令和4年6月28日から令和8年6月27日

●補充員当選者

- 永田 義彦 (下暮地)
- 前田 護 (本町)
- 権守 強志 (柿園)
- 武藤 信夫 (倉見)

6月定例会・条例制定・改正等 **全員賛成**

条 例 名	主な内容
西桂町税条例等の一部改正 (専決処分)	住宅ローン控除の適用期限の延長や、土地に係る固定資産税等の負担調整措置の継続等、地方税法等の改正に伴う条例の改正
西桂町国民健康保険税条例の一部改正 (専決処分)	中間所得層への負担に対する配慮措置として、国民健康保険税の基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額の賦課限度額を引き上げる条例の改正
西桂町介護保険条例の一部改正 (専決処分)	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等への介護保険料の軽減措置の継続に伴う条例の改正
富士五湖広域行政事務組合同規約の変更	富士五湖広域行政事務組合新庁舎竣工に伴う事務所の住所地変更等に関する規約の変更
押印見直しに伴う関連条例の整備に関する条例の制定	町民などの負担軽減と利便性の向上、業務の効率化を図るため、署名押印の見直しを求める条例の制定
西桂町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	官民連携事業の導入可能性調査を実施するプロポーザル審査委員会の設置に伴う委員報酬の支給にかかる条例の改正
西桂町職員給与条例の一部改正	職員を山梨県町村会へ派遣することに伴う諸手当にかかる条例の改正

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
令和3年度一般会計補正予算(第8号) [専決処分]	1107万円	28億2917万円
○歳入	町民税、地方交付税(特別交付税)、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国庫)他の増額。地方特例交付金他の減額。	
○歳出	基金運用経費(公共施設整備基金積立)他の増額。職員人件費、障害者自立支援給付費、新型コロナウイルス感染症対策経費、都市公園施設管理経費、町営住宅維持補修経費他の減額。	
令和4年度一般会計補正予算(第1号)	1億6063万円	32億1470万円
○歳入	地方交付税(普通交付税)、子育て世帯生活支援給付事業費補助金(国庫)、先導的官民連携事業補助金(国庫)、猫不妊・去勢手術助成事業補助金(県)、公共施設整備基金繰入金、財政調整基金繰入金、公共施設等適正管理推進事業債他の増額。	
○歳出	新庁舎建設経費、庁内ネットワーク運用経費、ふるさと西桂応援寄付金経費、先導的官民連携経費、子育て世帯生活支援特別給付金給付経費、新型コロナウイルス感染症対策経費他の増額。	

一般質問



酒井基和 議員

問 道路インフラ整備の実現 について

県道富士吉田西桂線道路工事について、小沼工区(上町地区)では昨年遺跡が発見され、今年度中は遺跡発掘調査に時間がかかると伺いました。上暮地工区は、

来年3月末の完成を目指しているという聞いております。小沼工区は残り約250メートル程ですので、速やかに対応していただきたいと思いますが、その後の遺跡発掘調査の経過についてお伺いいたします。

次に、国道139号の柿園中央道高架下の交差点ですが、長年にわたり懸案だった点滅信号機が、今年3月に時差式の信号機に変わりました。事故は減少したと思いますが、その一方で、朝の通勤時間帯では国道の交通渋滞が起きています。

このことにより、交差点改良工事により双方向の信号機にするべきではないでしょうか。工事にかかる詳

細設計の納期は来年1月末と聞いております。県に対し、工事に早く着手していただけるよう要望していただきたいと思っております。

また、都留市・大月市・西桂町を結ぶ新設道路についてですが、防災減災対策道路として、中央道側道を活用した道路改良工事について昨年から勉強会が行われていると聞いておりますが、現在の状況と今後の予定についてご説明願います。

次に、区長と議員の新年座談会の中で、下暮地区長より、下暮地地区から都留市大幡の宝地区へ抜ける新設道路の整備について要望がありました。富士山噴火もいつ起こるか分からないという状況では避難道路は必要かと思えます。国・県への働きかけについてお考えをお聞かせください。

長答 町答 県道富士吉田西桂線の 早期全線開通を目指す

まず、県道富士吉田西桂線における池の頭遺跡発掘調査の経過についてです。

県道富士吉田西桂線につきましては、国道139号のバイパス道路として、一日も早い全線の供用開始を望んでいることから、5月16日に道路管理者の県と委託契約を締結し、5月23日より発掘調査を実施しており、年内に完了できるように取り組んでおります。

次に、柿園中央道高架下の交差点につきましましては、点滅信号機での事故が多く、時差式への変更について大月警察署に要望してまいりました。本年3月より時差式に変更され、事故も減っているようですが、その影響により、朝の渋滞が生じております。

交差点改良につきまして、町で本年3月に対象用地の買収を行い、現在、富士・東部建設事務所において、詳細設計に着手してい

ただいております。また、詳細設計と並行して、国土交通省及び山梨県公安委員会との交差点協議を行い、早期発注を目指し、鋭意進めていると伺っております。

続きまして、国・県への新設道路につきましましては、都留市・大月市・西桂町を結ぶ既存の道路交通軸について、国土交通省・山梨県・都留市・大月市・西桂町で検討を行っております。現在、現道の現況把握及び交通渋滞等の課題を抽出する作業を行っています。

また、下暮地から都留市大幡へ抜ける道路につきましましては、今年度西桂都市計画マスタープランの改定を予定しており、当該道路についてもマスタープランに位置付けることになっております。今後、改定作業の進捗に合わせて関係機関への周知を図ってまいりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。



武藤隆義 議員

問 地域に密着した防災組織の構築について

小さなグループづくりの推進を

防災組織のあり方について、現在では自助と共助の間に「近所」を入れ、5軒から8軒程度のグループを形成し、日頃からお付き合いを基に、災害発生時には声を掛け合うことが重要とされています。各地区での組織は、区長を中心に各組長が組織の中心を成し、一人の組長が担当するのは10軒〜30軒以上となっています。迅速な避難行動や災害対応ができるでしょうか。新たな組織づくりが必ずしも必要と考えますが、新たなグループづくりを考えても、区長をはじめとする地区役員は1年で交代してしまい

ます。ここにも不安があります。不慣れた時期に災害が発生した場合、対処できるでしょうか。

現在の組織体制でできることではありません。町が主導する机上での「自主防災組織」や「地区防災計画」ではなく、町民が安心して暮らせる、新しい「自主防災組織」の確立が早急に必要と考えます。西桂町らしい「ひとりも被害者をださない」を合い言葉に、緊急時に対応できる新しい組織化にどのように取り組んでいただけるか、ご意見をお聞かせください。

各地区地理的条件により、地域に対応した組織づくりを

町の防災組織は、公助としての機能の位置づけが強く、町・県・国・消防署・気象台・自衛隊等との連携を図り、災害対策に対応する組織となっております。

大規模災害時に地域住民が自主的・主体的に初期活動を行うためには、地域にあった組織を住民が考え構築することが重要であり、取り組みの第一歩であると考えております。

当町の自主防災組織結成単位は、『各地区』自主防災組織』であり、地区役員が自主防災組織役員も兼務しています。特徴としては、「組織づくりが容易で継続しやすく、住民にとって組織の仕組みがわかりやすい。」という強みがある反面、「地区役員の交代によって活動方針や熱意が変わる。」等の弱みもあります。

「地区の下部組織」あるいは「地区とは別組織」とする場合には、地区住民の理解が必要であると考えております。各地区の地理的条件などにより、予想される災害も異なることから、各地区自主防災組織において、地域に対応した活動や組織づくりと、住民の防災意識の向上が不可欠であると考えております。

自主防災組織は、地域において「共助」の主体となるべき組織であるため、自治会等の地域で生活環境を共有している住民の皆様によって、結成・運営される必要がある。地域住民が連帯感に基づく自主的な活動組織となり、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識の共有化をもって組織改革に取り組んでいただきたいと思っております。

町長答 町の防災組織は、公助と

自主防災組織結成単位を



渡辺正芳 議員

問 新庁舎建設費の高騰と 財政状況について

新庁舎の総事業費は、令和4年度当初予算時の16億4千6百万円から19億5千5百万円に3億9百万円の増額となっております。
財源内訳や実質公債費比

率、地方債元利償還金の状況や、増額となる建設事業費について、町民が不安に感じていることもあり、
ので、総合的な見地からご説明をお願いいたします。

長弁 健全財政に努め、町の拠点と 町答 して魅力ある庁舎を実現する

コロナ禍における世界的な物流の低迷に加え、ウクライナ情勢や円安の状況を受けて建設資材が著しく高騰している状況下にあります。この機を逃すと庁舎建設には国からの助成がなくなり、竣工から50年以上が経過し老朽化が進み、耐震性が基準以下であること、バリアフリー機能が必要なことを踏まえ、事業を先送りすることなく、実施していく決断をいたしました。
総事業費の財源は基金が6億5千万円、地方債が12億3千7百万円、一般財源は6千8百万円となります。
当初予算では一般財源か

ら9千万円を支出する予定でしたが、補正予算で2千2百万円減額いたしました。通常の公共サービスに充てる一般財源は増えることになり、町民の皆様が不安を持たれていくような「新庁舎を建てるから福祉や教育、子育て支援などのサービスが減るのでは？」といった問題は生じません。
隈研吾氏に依頼することで、町内外の皆様から「高額な設計費がかかるのではないか？」というお話が多数ありますが、公共建築に木材利用を推進するという隈先生の思いと、町の財政

に大きな負担が生じないよう協力をお願いし、先生のご理解をいただいたこと、町の設計予算に合わせた6千6百万円で請けていただいております。
新庁舎は役場機能だけでなく、町民の皆様が集い楽しめる場所としての交流設備機能を併設しております。
これはタウンミーティングにおいて町民の皆様からいただいたご意見、役場職員からの提案を総合し計画に盛り込んだものです。
庁舎総面積1860㎡の内、70%の1300㎡が役場機能で、残り30%の560㎡が交流施設機能となっております。当初予算16億4千6百万円に当てはめると役場機能が11億5千2百万円、交流施設機能が4億9千4百万円の予算となります。
地方債は、令和3年度末で17億6百万円の残高でしたが、令和5年度末は27億6千2百万円に増額します。しかしながら、庁舎建設の地方債は30年の長期償還であり、また低利率での地方債のため、毎年の地方債元利償還金額

は本年度の約2億50万円をピークに毎年下がり続ける予定となります。加えて新庁舎建設事業に充てる地方債は総額の22・5%、2億7千8百万円が地方交付税に算入される仕組みとなっております。
今回の事業費のように一部が後で地方交付税として算入される臨時財政対策債などがあり、毎年の元利償還金のうち約75%が毎年の地方交付税に算入され町の財源となっております。
実質公債費比率については令和11年度7.5%の最高値では危険水準25%より低い状況であること、将来負担比率については令和7年度の9.2%をピークに低下する状況であり、危険水準350%より大幅に低い状況であるため、財政運営は健全な状況で推移すると考えています。
町民の皆様にお約束した公約の実現のため、歳入では国・県補助金の積極的な活用やふるさと納税制度の取り組みを強化するなど、収入増を図るとともに、歳出では全職員協力して効率化に取り組んでまいります。

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その88



この度、第59回山目YBS杯南都留地区大会において、26年ぶりに優勝することができました。また、一生懸命頑張っている子供たちから多くの感動を与えてもらいました。今まで西桂少年野球団に携わっていただいた全ての方に感謝いたします。これからも西桂少年野球団の存続のため頑張っておりますので、応援よろしくをお願いいたします。

訪問先

西桂少年野球団

会長：永田 晃之
監督：佐藤 雄太

取材日：6月23日
梅原議員、菅谷議員

問 団員数を教えてください。

佐藤さん 小学生21名です。

問 練習日及び時間は。

佐藤さん 火曜日・木曜日は午後6時から午後8時まで、土曜日は午前9時から午後4時まで練習しています。日曜日は対外試合 or 練習です。

問 練習場所は。

佐藤さん 西桂小学校グラウンドで行っています。

問 今後の目標は。

佐藤さん 楽しみながらプレーをして仲間と共に成長していくことです。

問 町民の皆さんにお知らせしたいことは。

佐藤さん 野球に少しでも興味のある方は是非グラウンドに遊びに来てください。

問 行政に望むことは。

佐藤さん 他の市町村のグラウンドに比べ照明が暗いです。練習がしづらいので明るくしていただきたいです。

問 チームのPRをお願いします。

佐藤さん 私たち西桂少年野球団は「仲間を信じて」をスローガンに掲げ、日々練習に取り組んでいます。野球だけでなく、挨拶や礼儀などの大切さや他学年との交流も学んでもらえるよう心がけています。



コミュニケーション広場では、西桂町で活動されている団体を紹介しています。掲載を希望される団体は是非ご連絡ください。（議会事務局：☎ 25-2121）